

科目名	学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
制御情報工学実習 I (Practice in Intelligent System Engineering I)	1S	3	140分×30回	必修	実験・通年	-
教員名	田辺 誠 : TANABE Makoto 久保田 良輔 : KUBOTA Ryosuke					
授業概要	<p>情報分野に関する基礎的な技術を身に付ける。 第1回の実習は全体で行い、第2回以降の実習は2グループに分かれて行う。 また、各テーマ終了時にレポートを提出する。</p>					
到達目標			評価方法			
(1) 情報分野の基礎的な知識を実践的に習得できる。 (2) 実習によって得られた知識を正確に説明・記述する能力を習得できる。			①レポート(50%)、②実習技術等(50%)を総合して評価する。			
学習・教育目標		(A)	JABEE基準1(1)		(1)	
授 業 計 画	回	項目	内 容		回	項目
	第1	情報倫理	情報社会の倫理や法律、情報セキュリティについて理解できる。		情報実習A (担当教員:久保田)	
	情報実習A (担当教員:久保田)		Linuxの基本的な使い方を学習する。 Linuxの基本的なコマンドを使うことができる。ファイル・ディレクトリを理解し、操作できる。リダイレクション、パイプの仕組みを理解できる。また、HTML言語を学習する。タグを理解できる。		1. 画像処理 2. グラフ描画 3. 文書作成 4. 図形描画 5. C言語入門 6. 課題作成	
	情報実習B (担当教員:田辺)		Windowsの基本操作を学習したのち、レゴのマインドストームを教材として、ロボットの動かすプログラムの基礎を学習する。プログラミングにはROBOLABというソフトウェアを用いる。センサの基礎を学習する。		1. NQCを用いたプログラミング 2. 変数を用いた制御 3. for文、while文、if文を用いた制御 4. センサを用いたプログラム 5. サブルーチンを用いたプログラム	
自学自習の内容		課題として演習問題を示す。レポート課題を課す。				
関連科目	情報リテラシ					
教科書	使用しない(プリントを配布する)。					
参考書	ひと目でわかる最新情報モラル 高校版—ネット社会を賢く生きる実践スタディ(大橋真也他著、日経BP社)					
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。					
副担当教員						
備考	プリントを配布する。					